学校だより 菜の花



川崎市立長沢小学校
令和８年１０月３０日
１１月号

長沢小 HP
（学年だより）

大切な人間である

校長　　宮原　千恵子

朝夕の冷え込みに秋の訪れを感じる季節となりました。校庭の木々も色づき始め、黄色くなり始めたイチョウの葉を花束のように握りしめている子もいます。また、元気に校庭を走り回ったり体を動かしたりする子どもたちの姿も見られます。

今年度の校舎改修工事がほぼ終了し、校庭が広く使えるようになりました。休み時間に友達とぶつかる心配も減り、のびのびと遊んでいます。工事が続いていた特別教室の内装も出来上がり、家庭科室の器具や食器類、図書室の本を戻す作業が進んでいます。教職員はもちろんですが、学校司書、図書ボランティアさんの力もお借りし、以前よりも明るい雰囲気の教室になっています。

さて、今月２０日は「かわさき子どもの権利の日」です。この条例では「子どもは、一人一人みんな、大切な人間である」、「権利は、自分らしく生きていくために必要なものである」とされています。自分の権利が保障されるためには、他人の権利も大切であることや互いに尊重し合うことの大切さも示されています。人権意識を育む基礎としては「自分に自信をもつ」「他の人の気持ちを考える」「コミュニケーション能力を育てる」ことが必要であると考えられています。

今月行われる学校公開日でも子どもの権利や人権、友達との関わりを意識した学習を行います。「ちがい」を認め、自分の思いを大切にすることと同じように友達の思いや立場にも思いを寄せ「そんな考え方もあるんだね。」と受け止め合える関係づくりに努めていきたいと考えています。学習に取り組むお子さんの姿や集団の中での友達との関わり方をご覧になり、感じたことや認める言葉をたくさん伝えてあげてください。「人権意識」の芽生えは、身近な大人からの励ましや温かい対話の中から育まれます。「自分は大切にされている」「ありのままでいいんだ」という自己肯定感をもてるよう、学校と家庭、地域とで手を取り合っていくことができれば幸いです。権利の日を好機と捉え、子どもの気持ちや言葉に耳を傾け、関わり方について共に考えていくことで、「よりよい未来」を目指していきたいと考えます。

児童会でも「一人一人が笑顔で個性かがやく長沢小学校」をスローガンとし、実現に向けて、具体的な取り組みを進めています。校長室前にみんなの「ありがとう」を集めた「ありがとうの木」の制作予定があるようです。完成を楽しみに待ちたいと思います。

・・・